

## 都道府県農業試験場における土壌肥料部門の現状と課題 談話会のご案内

日時：2015年9月9日（水）16:00～18:00【第一部】

場所：吉田キャンパス・吉田南構内・吉田南総合館（学会会場）2F西側、共西22講義室

開催主旨：都道府県の土壌肥料部門は、食糧増産が行政の主題であった時代には生産技術の中心に位置づけられていたことから、国からの補助金や交付金によって財政的に支援され保護されてきたと考える。しかし、近年、部署の名称に「土壌」の表記が減少しているように感じられ、独立して土壌肥料を担当する部署そのものが消滅した府県もある。この分野について、全国横並びの印象を持ちがちであることから、担当者の意識を共有する目的で企画するものである。

### 【第一部】

「都道府県農業試験場における土壌肥料部門の現状と課題」

司会：甲谷 潤（JA全農）

（話題提供）

内山知二（地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所）

—都道府県農業試験場土壌肥料担当者アンケート結果の紹介—

松浦里江（東京都農林総合研究センター）

—関東地域における土壌肥料分野の現状—

牧 浩之（兵庫県立農林水産技術総合センター）

—兵庫県土壌肥料部門の変遷—

中西 充（香川県農業試験場）

—香川県農業試験場のこれまでとこれから—

大塚紀夫（佐賀県農業試験研究センター）

—九州地域における土壌肥料部門の職員数と研究内容の変化及び課題と現状の紹介—

井上健一（鹿児島県農業開発総合センター）

—鹿児島県土壌肥料部門の現状—

宮丸直子（沖縄県農業研究センター）

—沖縄県における土壌分野の前向きな新展開—

・アンケート結果は、回答者宛てに別途連絡いたします。

※会場には、要旨資料とプレゼンテーション機器を準備いたします。追加の資料がある場合には、後日希望者あてにメール配信をする予定です。

### 【第二部】（会場は、百万遍上る一筋西入る「写楽」です。）

第一部終了後、会場近隣で懇親会を予定しております。第二部のみのご参加も歓迎いたします。

第一部、第二部とも、事前におおよその参加人数を把握したいため、下記宛てにメールで、ご連絡をいただくと助かります。

・第二部は、第一部終了次第 18:00 頃から開催いたします。飛び入り参加も歓迎いたします。

会場：「写楽」百万遍上の一筋西入。電話（075）781-1335

「土壌研究会」で予約しています。会費 4,000 円（税込み）

<http://r.gnavi.co.jp/k614100/>



k614100



連絡先：[uchiyoama\(at\)dgcbase.jp](mailto:uchiyoama(at)dgcbase.jp)

(at)を@に変えて送信してください。

ご連絡いただいたアドレス宛に、受信確認の連絡をさせていただきます。もし、連絡が無い場合には、電話連絡をいただければ対応いたします。

電話連絡先：地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所

食の安全研究部園芸グループ（佐野、金剛）

電話：072-958-6551（代表）

以上